

要望事項（優先順位 2）

高野修学院山端線における交通安全対策

要 旨

高野修学院山端線は、地域の主要な生活道路として通学路にも利用されており、歩行者・自転車の通行が多い道路であります。地域住民によるボランティアとPTAが協力して登下校時には毎日子どもの見守り活動が続けるなど、地域として安全対策に努めていますが、見守り活動中にもヒヤリと感ずることが日常的にあり、安全に利用できる生活道路の確保のために根本的な解決が求められます。

また、近年は多くの観光客にも利用されていますが、生活道路に適さない速度で通過する車両が多く、大変危険であり地域住民も危惧しています。観光名所が多いこの地域で観光客が安心して散策を楽しめる町とすることにより、地域の魅力がさらに高まり、市民生活と調和した持続可能な観光都市としての京都の価値を高めることにもつながると考えますので、以下の交通安全対策を要望いたします。

- A この区間及び白川通までの区間は、緩やかな下り坂で道幅も広いことから通過する車両が速度を上げがちです。このため、通過する車両が速度を落とさざるを得なくなるような工夫が求められます。ドライバーが、歩行者・自転車優先の道路と認識できるよう、車の道幅を抑え、歩行者・自転車の通行する場所を取り、その境界を明確にするなどの対策を要望します。
- B この交差点は、以北の幅員が狭く離合が難しいため、離合することに気を取られ、十分な安全確認をせずに通行する車両があります。見通しが悪く、過去に事故が発生したこともあります。現在、一灯式の点滅信号が設置されていますが、政府が一灯式信号を全国的に廃止する方針であり、この信号も令和5年度までに撤去されるのではないかと危惧しています。幅員の狭いこの交差点以北を含め、歩行者が安心して通行できる対策を要望します。
- C この箇所には、児童館や集会所などがあり、公共的な施設として児童をはじめ多くの住人が利用する一方で、この部分は見通しが良く車速が上がりやすい場所となっているため、対策を要望します。
- D この4差路の交差点は、北方向から西方向へのカーブが優先道路となる変則的な交差点です。東方向からの通行量が多い一方、最も幅員が狭い南方向からの道路が主要な通学路となっています。近くに観光名所があり、観光客も多い場所ですが、車両の速度が速く、事故が起こるのではないかと心配しています。
- この交差点以南の道路に関しても、歴史的に主要な生活道路であるにもかかわらず、幅員が狭く見通しが悪いうえ、優先的に扱われるべき主要な路線であることが分かりにくい箇所が複数見られるため、安全な住環境づくりのための対策を求めます。
- E この交差点はD地点からの車両がカーブで見通しが悪いにもかかわらず、下り坂で車速も高く、横断が難しい交差点です。交差点から北に西浦畑公園があるため、子どもや高齢者の横断も少なくないため、交通安全対策を求めます。

F この交差点は地域の買い物など生活上最も利用頻度の高い交差点であることに加え、叡山電鉄一乗寺駅と、観光名所として人気の高い詩仙堂、下り松、八大神社、曼殊院、圓光寺を繋ぐ交差点で、観光客の往来も非常に多いです。しかし、東西方向の横断歩道の幅員は狭く、信号待ちの歩行者が安全に滞留できる十分なスペースがないため、歩行者が歩道にあふれていることが多いです。地域のアンケートでも、この交差点が歩行者として利用しづらいとの意見が複数寄せられており、高齢者からは白川通の幅員に対して東西方向の歩行者の青信号時間が短いとの意見も出ていますので、御検討をお願いします。

回 答 (建設局)

A 車両の速度抑制等の対策として、車道の幅員を抑えるために路側帯の幅を拡げることについては、関係機関との協議が必要となることから、短期間での実施は困難なため、まずは、歩行者、自転車への安全対策として、車両の速度抑制等の注意を促すための電柱幕を設置してまいります。

B 当該交差点においては、通行車両の視認を補助して安全を確保するため、既にカーブミラーを全ての方向に設置するなど安全対策を講じております。

C 電柱幕を設置することにより、通行車両に対して、歩行者が多く通行する場所であることを明示するほか、施設の出入口付近においては、ドライバーに注意を促すための対策として、ポストコーン等の設置を検討してまいります。

D 当該交差点は御指摘のとおり変則形状の交差点ですが、優先道路に合流する箇所については全て一旦停止の交通規制が掛かっていることに加え、特に変則的な形状となっている南側からの合流箇所には、昨年度、どちらの道路が優先かをより明確にするため、外側線（破線）を設置しました。当該交差点を通過する際には、十分注意していただきますようお願いいたします。

また、当該交差点以南については、必要に応じて、通行車両に注意を促すための電柱幕の設置を検討してまいります。

E 交差点の存在をより明確にし、車両への注意を促すため、クロスマークの区画線を設置いたします。

F 交差点内の歩道形状の変更は、周辺交通に対して大きな影響を与えることから、関係機関とも協議しながら、慎重に検討を行ってまいります。

(下鴨警察署)

一灯点滅式信号につきましては、撤去の方向で進めております。撤去となった場合、一時停止等の代替措置を講じるなどして安全対策に努めてまいります。

次に、白川曼殊院交差点の東西行の横断歩道の幅員が狭いとの御指摘ですが、大規模な交差点改良が必要であるため、現時点での対応は困難かと思われまます。

また、歩行者用灯器の青色表示が短いという御指摘ですが、交通状況等を勘案の上、検討してまいりたいと考えています。

地図

